



登録番号： 24003

評価証

「The 16th Asian Conference on Organic electronics ～ A-COE2024」の主催者は、参加者、事業者、関係団体や地域など、関係する全てのステークホルダーに配慮したMICEの開催及びSDGsの自律的好循環を形成し、主催するMICEの価値向上に取り組んだことを評価します。

- 催事名称：「The 16th Asian Conference on Organic Electronics ～ A-COE2024 第16回有機エレクトロニクスに関するアジア会議」
- 開催期間：2024年（令和6年）11月19日（火）～ 11月22日（金）4日間
- 会場：大阪公立大学 I-site なんば
- 主催団体：A-COE2024 組織委員会委員長 大阪公立大学特任教授 内藤 裕義
- 概要：本学会は、2009年に創設されて以来、韓国、台湾、中国そして日本で開催されてきた学会で、有機エレクトロニクス分野での国際的にも最も重要な会議の一つである。アジア各国からこの分野の研究者多数が集い、研究成果に関する情報交換やネットワーキングの構築を図った。また令和6年度観光庁の「大学における国際会議開催促進事業」に採択された学会の1つでもある。



TEAM
EXPO
2025

SDGs for MICE評価制度は
「TEAM EXPO 2025」プログラム
共創チャレンジに登録しています

令和7年 6月26日
公益財団法人大阪観光局
理事長 溝畑 宏



A-COE2024
(有機エレクトロニクスに関する
第16回アジア会議)

報告書

2025年1月30日

A-COE2024 組織委員長

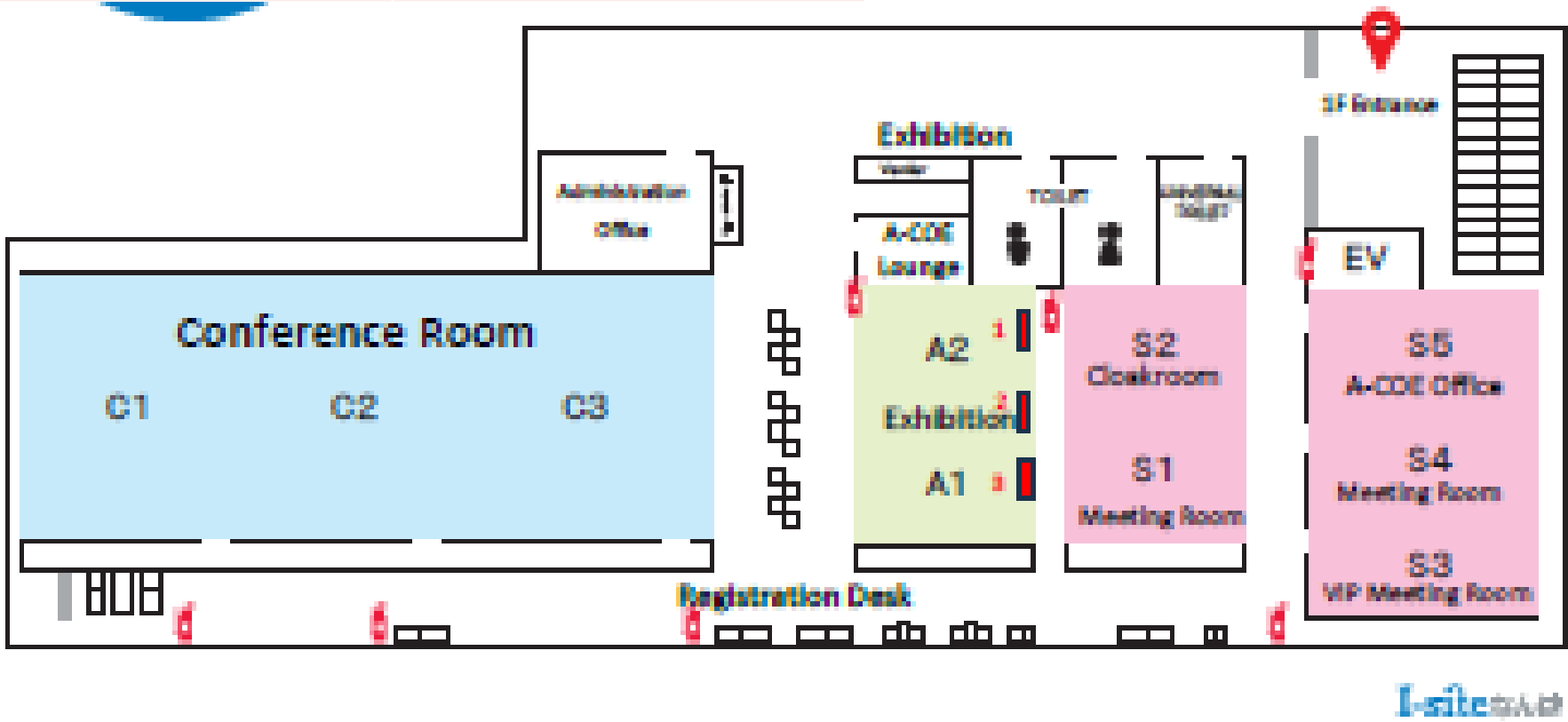
内藤裕義

■会期：2024年11月19日～2024年11ガル22日 4日間

■参加国・地域数：9
日本、中国、韓国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、英国、ベトナム

■会場：大阪公立大学 I-siteなんば

	Room No
Conference Room	C1,C2,C3
Exhibition	A1,A2
VIP Meeting Room	S3
Meeting Room	S1,S4
Cloakroom	S2
A-COE Office	S5



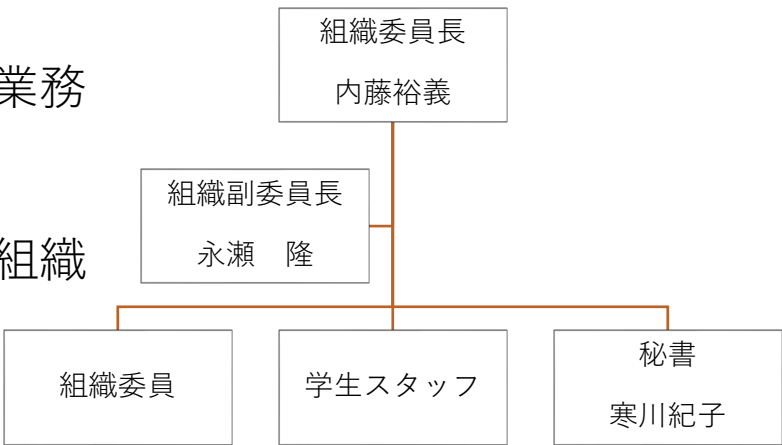
■運営実施体制図

■サテライト講演会

後援：大阪公立大学、堺市、堺市産業振興センター
会場提供：堺市産業振興局
サテライト講演会運営委員長：大阪公立大学大学院工学研究科特任助教大垣拓也
申し込み関係、事前準備、当日運営：大阪公立大学産学官民共創推進室
行政との折衝：大阪公立大学産学官民共創推進室 日高・中谷・上田

■本会議

後援：日本学術会議、大阪観光局、堺市
開催支援業務（開催準備、当日受付、会場使用機器手配）：株式会社業務渡航センター 担当高崎様
会場貸し出し減免措置：大阪公立大学社会連携課
各種手配（バンケット、飲食、宿泊、製作品、エクスカーション）：組織委員会内装・寒川
行政との折衝：大阪公立大学産学官民共創推進室 中谷・上田



■プログラム [A-COE 2024 program v6 for hp.xlsx - A-COE2024 Conference Program.pdf](#)
SDGsの観点により、紙面配布は行わず、PDFでの配布のみ行った。

■エクスカーショ ン

日時 2024.11.22 出発 13：30 I-site なんば

13：30 I-site出発

14：00—14：30 大阪府咲州庁舎（万博会場見学）
入場料金 800円／人

15：00—15：30 百舌鳥古墳群ビジターセンター見学（空撮8K映像鑑賞、仁徳天皇陵古墳）
駐車場／マイクロバス；1,000円/1回

16：00—16：45 さかい利晶の杜（お茶体験）
利晶の杜立礼呈茶体験：640円/人（団体料金・10名以上）
駐車場：1,000円/1回

17：00—17：30 堺刃物ミュージアム
<https://www.sakaidensan.jp/>

18：30 I-siteなんば

■機材備品

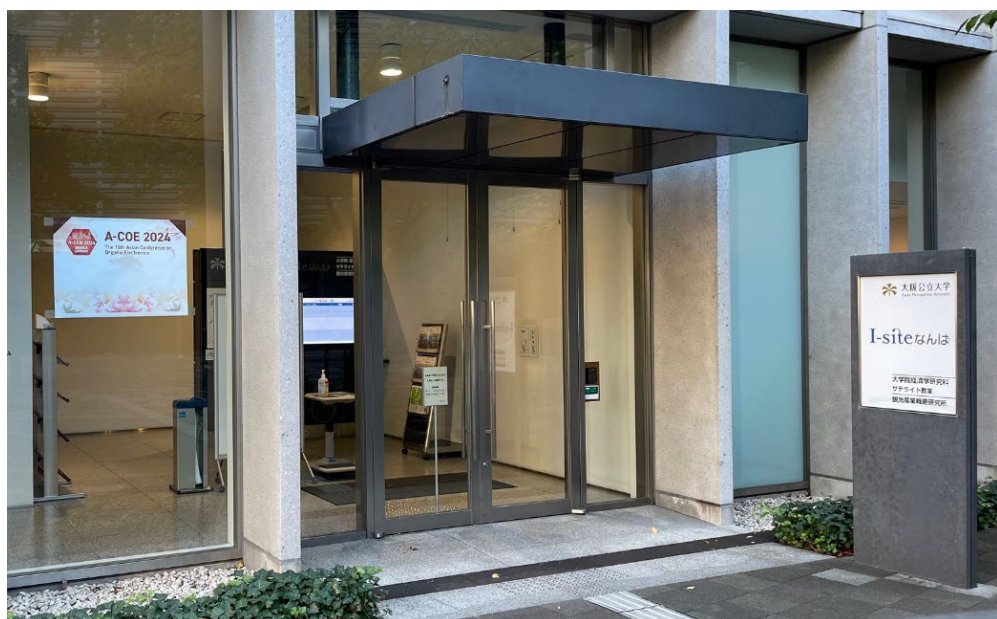
デジタルデバイスを活用することで、紙での案内を削減しSDGsに配慮した運営を行った。

備品	数量
会場用PC	3
会場内デジタルサイネージ	1
会場スタッフ用デジタルデバイス	5
受付・運営用 PC、モニター	3
運営用プリンター	1
ポスターパネル	会場備品31＋手配22
テーブルタップ	30

■SDGsを意識した取り組み

- ・デジタルデバイスを活用することにより、紙の配布を抑制した。
- ・運営準備段階においてもペーパーレスを最大限に心がけた。
- ・災害時の対応案内を事前に参加者へ案内を行った。
- ・災害時の避難通路確保などを考慮した会場レイアウトを行った。
- ・登壇者、運営委員メンバーはジェンダー平等を考慮し構成した。
- ・学生を対象にした奨励制度を設けた。
- ・ノベルティには環境に配慮した製品を採択した。
- ・お弁当など食事の提供はハラル・ベジタリアン対応の業者に委託した。
- ・ゴミの分別は会場のルールに従い行った。
- ・地元の文化振興を考慮したエクスカーショ ンを実施した。
- ・地域住民を対象とした産官学連携の講演会プログラムを開催した。
- ・本制度の宣言内容に基づくSDGs運営方針を全員に伝え、個々にも留意いただくよう働きかけを行った。

会場入り口



会場



受付



展示（万博関連）



展示（大阪観光局）



展示（近隣観光）



展示（企業）



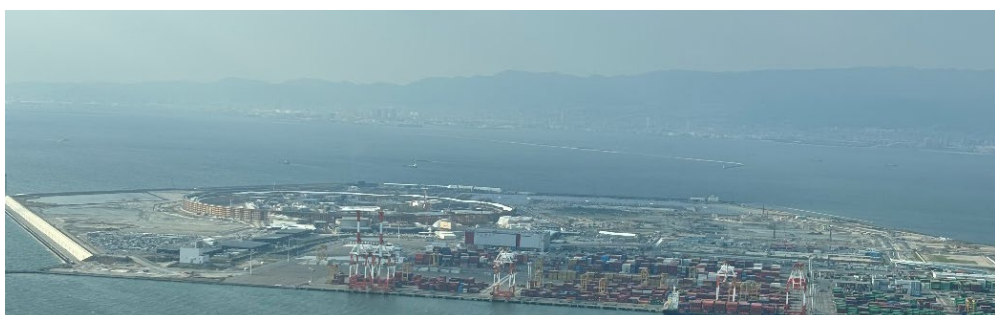
写真記録



Banquet



エキスカッション



集合写真



■サテライト講演会

The 16thAsianConferenceonOrganicelectronics(A-COE 2024)

2024年11月18日（月） 13時～17時30分

会場：堺市産業振興センター

参加者：申込数54名、事前欠席連絡2名、当日参加者47名

受付



会場



申請書(2)

No.	取組段階	運用	項目	内容	SDGs	SDGs 関連項目	申請内容 該当に✓	審査員 チェック	審査員コメント
-----	------	----	----	----	------	--------------	--------------	-------------	---------

■ 審査結果総括

- ・学会として、初めての評価制度を申請いただきました。
- ・実際の準備が、内藤先生と秘書の方が対応しており、ペーパーレス化、カンファレンスバッグの中の配布物は、FSC認証のノートやバイオマスプラ認証のボールペン、堺市の企業が製造した手ぬぐいなど、海外からの参加者にも配慮しています。また、運営準備は最少人数でできる限りの対応を実施していることを確認しました。
- また、カンファレンスバッグは、持ち帰って使用できる布製で、開催地の特徴が描かれているので、参加した当方が思い出されます。
- ・コーヒブレイクのコーヒの産地表示も日英の2か国語で表記されていました。
- ・学会開始前の10月1日に、堺市と共催で、「いまさら聞けない半導体産業の現状と将来」をテーマにセミナーを開催しています。
- ・レセプションパーティーには、大阪観光局の方にも協力していただき、パーティの食品ロス、容器の材質やリユース品の使用状況などを確認いただき、会場側の協力もいただいていることを確認しました。
- ・姫路市、岡山のコンベンションの展示もあり、次の開催地としてのPRを実施していました。

【改善と次回に向けたアドバイス】

- ・学会における環境配慮やSDGs視点をできる範囲で対応いただいています。毎年の開催国や開催地が異なるため、できることが限られるかと思いますが、今回の範囲で結構ですので、運営姿勢などを引き継いでいただくことを期待します。

■ 評価委員会の総括と結果

- ・MICEのなかで国際会議は重要な位置を占めていますが、特に学会は営利団体の参加が少なく、評価結果が利益誘導にはつながらないなかで、貴学会が大阪観光局のSDGs for MICE認証評価を受検されたことに感謝いたします。学会運営については非常に限られた人数で運営されたようですが、SDGs for MICEの精神はよく表出されていたと思います。あまり大きくない規模で行われているため、ステークホルダーを含めた参加者全体に学会運営におけるSGDsの意図がよく浸透していたと思いました。今後の学会運営における先例となっていたらと思います。
 - ・国際的にも高く評価されている貴学会が、学術的な貢献にとどまらず、環境・社会・経済の側面を統合的に捉えた持続可能な運営に挑戦されたことに、深く敬意を表します。とりわけ、地元自治体との連携による地元企業の研究者への参加呼びかけや、地域産業をテーマにしたセミナーの開催、地元文化の振興を目的としたエクスカージョンなど、セクターを超えた協働によってMICEの社会的価値が高められている点は特筆に値します。
- また、若手研究者や将来のMICE主催者の育成にあたって、SDGsの理念や持続可能性に配慮した運営のあり方が組み込まれていることから、こうした姿勢が次世代へと受け継がれ、今後のMICE開催・運営においても持続可能な視点が自然と発揮されていくことを心より願っております。